

鳥取県人口移動調査は、住民の出生、死亡及び移動の状況を把握し、市町村別の推計人口を毎月公表しています。このたび、平成28年（1月～12月）の調査結果を下記のとおり取りまとめました。

記

1 人口動態

人口増減は、4,007人の減少で前年と比べ減少数が69人拡大

平成28年の人口動態をみると、4,007人減少で前年と比べ減少数は69人拡大し、20年連続で減少した。

区 分	人口増減	自然増減	出生		社会増減	県外転入	県外転出
			出生	死亡			
平成28年(a)	-4,007	-2,916	4,459	7,375	-1,091	10,221	11,312
平成27年(b)	-3,938	-2,638	4,628	7,266	-1,300	10,507	11,807
対前年(a-b)	-69	-278	-169	109	209	-286	-495

2 自然動態

自然増減は、2,916人の減少で前年と比べ減少数が278人拡大

自然動態をみると2,916人の自然減少で、前年と比べ減少数は278人拡大し、18年連続で自然減少となった。

また、昭和30以降、出生数は過去最少で、死亡数は過去最大となり、自然減少は過去最大となった。

月別にみると、出生数は8月が410人、死亡数は1月が757人と最も多かった。また、すべての月で自然減少となり、自然減少数は1月が372人と最も多かった。

市町村別に自然動態をみると、すべての市町村が自然減少となっている。自然減少数は鳥取市が599人と最も多かった。自然減少率（対1,000人比）は日南町が25.4%と最も高かった。

※ %（パーミル）：千分率（1%＝0.1%）

3 社会動態

社会増減は、1,091人の減少で前年と比べ減少数が209人縮小

社会動態をみると1,091人の社会減少で、前年と比べ減少数は209人縮小し、15年連続で社会減少となった。また、昭和30年以降県外転出者数が最少となった。

実移動者総数について、月別にみると、3月が6,822人、4月が4,232人となり、この2か月間で年間実移動者総数の約4割を占めた。

年齢5歳階級別にみると、社会増加数は30～34歳が104人、社会減少数は20～24歳が818人と最も多かった。

地域別（都道府県別）にみると、社会増加数は長野県が23人、社会減少数は大阪府が293人と最も多かった。

市町村別にみると、南部町、日吉津村、江府町及び若桜町で社会増加となっているほかは社会減少となっている。社会増加数は南部町が36人、社会減少数は鳥取市が408人と最も多かった。社会増加率（対1,000人比）は日吉津村が6.9%、社会減少率（対1,000人比）は境港市が7.1%と最も高かった。

※ %（パーミル）：千分率（1%＝0.1%）